

様式

技術名称	WIT地盤改良管理システム2020	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無し
会社名等	若築建設株式会社	担当者	技術部 原 稔	連絡先	03-3492-0285
技術の概要	地盤改良工事における品質・出来形管理ツールとして、WIT(Wakachiku Intelligence Technology) 地盤改良管理システムを2016年に導入した。本システムは、地盤改良工事における品質・出来形情報を3次元CIMモデルの属性データとして一元管理するとともに、動態観測結果や地盤調査結果などの工事関連資料を同CIMモデルに関連付け、関係者間の情報共有ツールとして多くの現場において運用してきた。港湾、海岸、空港等の実現場において本システムを適用した事例紹介と、昨今のシステムの運用を通じて拡充してきた機能とその効果について報告する。	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無	あり	
技術の特徴	地盤改良は施工箇所が地中の不可視部分であり、施工中や施工後の出来形を直接視認することができない。弊社では地盤改良工事における品質・出来形の管理ツールとして、地盤改良管理システム運用している。 <b>【特徴】</b> ・高圧噴射攪拌工法、薬液注入工法における強度試験結果やSCP工法における事後調査結果(N値)の一元管理 ・高圧噴射攪拌工法における造成径確認結果(熱電対、サウンディング結果、改良体試掘結果等)等出来形管理記録の項目拡充 ・陸上SCP工法における施工時の間隙水圧記録等施工中の測定記録一元管理 ・クラウド、VR技術を用いた情報共有の強化 ・システムによる施工状況の確認体制による現場の透明化	その他	特にありません。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。